



Francesco Ricci

フランチェスコ・リッチ

Styling and Photo by ©Olivia LaRocha

1983年アイルランド、ダブリンで生まれる。イタリア人の父とアイルランド人の母を持ち、ローマ、イタリアで育つ。2007年に大学のコミュニケーション学科から歴史の文書化における写真の役割の貢献を論文のテーマにして卒業。

卒業後はファッションフォトグラファーとしてニューヨークの The News Showroom やファッションのトッププロダクション・エージェンシー Milk Studios、ミラノの WP Lavori in Corso や Circus Studio など、様々な都市を行き来しながらファッションフォトグラファーの仕事をしている。Wayne Maser(American Vogue, Vogue Italia, Guess)や David Bellemere や Paolo Di Paolo などの著名なフォトグラファーと数々の仕事をして影響を受ける。時としてはモデルとして活動する時もある。

知名度の高いファッションブランド、イタリアメゾンとのプロダクション、イタリアシネマ界の著名な俳優、監督などのシューティングもこなし、Woolrich, Missoni, Fendi, Salvatore Ferragamo などとスチール、ショートムービーを製作してきた。

個人的に続けているアートのプロジェクトとしては

”This is Harlem” Creative Room Art Gallery, Rome

近年ではグループ展”Posed” Galleria del Cembalo, 2017

35>TRENTACINQUE, Museo Arte Contemporanea Roma 等にも参加している。人間の身体の美しさを追求するだけでなく、それを取り巻く環境、彼の生きる個人的な時間を切り取り記録する事をテーマにした作品を作っている。

フィルムディレクターとしても活躍し、2012年にドキュメンタリーフィルム”Madè Mayday”を製作、共同監督する。

2013年はリッチ兄弟で監督したショートフィルム”Halina”をアメリカのインディペンダントフィルムフェスティバルの The D.C. Independent Film Festival 出品し Best Narrative Short Film Award を受賞した。2019年から新たにショートフィルムの製作、撮影に入っている。

齋藤有美子